

平成 27 年 10 月 7 日

各支部の皆さまへ

平成 27. 28 年度 継続・新規の各支部木造耐震委員の募集

来年度より新たに建築物耐震改修促進 10 カ年計画の初年度になります。

木造住宅、沿道建物、民間集客建物等に対する耐震改修のいろいろな政策が打ち出される年となると思われ、その普及・啓発活動をより活発化させると共に新たな事業活動の立ち上げを視野に入れ積極的に推進していく予定です。

その一環として当協会では、他団体と共同で京都府全域を対象に耐震協議会の発足の計画を目標に、まず協会内の戦力の充実を図るべく計画を考えています。

又 昨今、S 56 年以降の建物についても協会に問い合わせがたくさん来るようになり、即戦力として対応できる委員の派遣が急務と考え、その受け皿としての体制作りも必要となってきましたので、再度各支部木造耐震委員の継続、新規を含め募集を行います。

各支部木造耐震委員となってお協力をお願いいたします。

申し込みは 事務局宛てに F A X (222-1700) 又は[木造耐震委員会のホームページ](#)からダウンロードして[メール](#)にてお願いいたします。

締め切りは 11 月 24 日 (火) とします。

一社) 京都府建築士事務所協会会長 高橋 宏
業務・技術部会担当理事 瀬戸 一海

木造耐震委員会支部委員申し込み、
各市町村への事務所協会診断士の申し入れ、
ホームページへの診断等実績の掲載希望申込書

平成27年 月 日

一般社団法人京都府建築士事務所協会

会長 高橋 宏 様

木造耐震委員会支部委員として 木造耐震普及啓発活動に参加し 又 H27.28年度
各市町村耐震診断士支援事業に参加を希望し、耐震診断等の業務について、実績欄に
●を記して報告し 申し込みいたします。

(○継続・○新規)

支部名会員番号	支部
建築士事務所名	
開設者名	
所在地	(〒)
TEL/FAX	/
E-mail	

担当所員名			
耐震診断士番号	京都府	<input type="radio"/>	
〃	京都市(一般)	<input type="radio"/>	
構造診断士番号	京都市(京町屋)	<input type="radio"/>	
	その他	<input type="radio"/>	H27度取得予定
建築士種別番号	1級/2級/木造		
E-mail			

実績欄

	種類	H25年度	H26年度	H27年度	備考
実務	①耐震診断 (京都市内)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	同上 (府下)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	②耐震設計(実施)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	③耐震改修工事、監理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
講習会	④日本防災協会 「木造住宅の耐震診断と補強方法」 2012年度版	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	H24年度○

実績欄説明

- ① 対象木造住宅※1の一般診断法等※2による地震に対する安全性の評価に係る業務実績
各市町村改修提案事業を含む京都府・市木造住宅耐震診断士派遣事業を含む実績
- ② 対象木造住宅※1の耐震改修工事※3を行うための設計業務実績
- ③ 対象木造住宅※1の耐震改修工事※3の工事監理業務実績
- ④ 日本防災協会「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法講習会」講習会

※1 対象木造住宅：昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅

※2 一般診断法等：一般財団法人日本建築防災協会が定めた「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める一般診断法又は精密診断法（時刻歴応答計算による方法を除く。）

※3 耐震改修工事：一般診断法等※2の結果評点が1.0未満と診断された木造住宅に対して行う改修工事で、評点を0.7以上に向上させるもの

○「木造耐震委員会・支部委員申し込み」について

来年度より新たに建築物耐震改修促進10カ年計画の初年度になります。

木造住宅、沿道建物、民間集客建物等に対する耐震改修のいろいろな政策が打ち出される年となると思われ、その普及・啓発活動をより活発化させると共に新たな事業活動の立ち上げを視野に入れ積極的に推進していく予定です。

その一環として他団体と共同で京都府全域を対象に耐震協議会の発足の計画を目標にまず協会内の戦力の充実を図るべく計画を考えています。

又昨今S56年以降の建物についても協会に問い合わせがたくさん来るようになり、即戦力として対応できる委員の派遣が急務と考えその受け皿としての体制作りも必要となってきましたので再度各支部木造耐震委員の募集を行います。

支部を中心に、地域に根ざした地域密着型の「地元と密着した 地元の建築士、工務店」を原則として活動拠点の構築を行い 各支部の木造耐震委員が中心となって日常的に支部内の担当市町村、地域において普及啓発活動として耐震イベント等に参加し耐震相談に応じると共に地域の自治会、自主防災会等地域に根ざした組織と連携をとり「耐震をキーワード」に地域のネットワークの一翼を担う組織作りを目指す事を主眼にすえ、その束ねとして木造耐震委員会が発足しています。

その支部主体の組織作りの重要な一翼を担っていただくための木造耐震委員会支部委員の募集を行うものです。

○各市町村への事務所協会所属の診断士の申し入れ

今年度事業に協力できる協会所属の診断士の名簿をそろえ各市町村に提出すると共に委託事業が発生した場合の事業参加者として協会と委託契約を行う木造耐震診断士としてあらかじめ実績と共に登録していただき即戦力として機動的に活動する基盤作りのためのものです。

京都市域においては京安心すまいセンターの耐震ネットワーク委員会の協会メンバーとしてホームページに掲載いたします。

尚、名簿作成には実績を踏まえて委員会で精査し行います。

○ホームページへの診断等実績の掲載希望申込書

京都市域においては京安心すまいセンターの「京都市耐震ネットワーク委員会」の普及・啓発活動の一環として木造耐震に関するホームページの中で協会メンバーとして木造耐震の実績のある事務所名簿の掲載の更新をし京都市民の選択のための情報として役立たせるために実績を含めて申し込みをしていただきたいと思います。

又京都市耐震ネットワーク委員会の事業として建築士派遣制度にも、その名簿としても活用します。ご協力をお願いいたします。

当協会の木造耐震委員会のホームページにも掲載いたします。

木造耐震委員会委員長 武村直文 H27.10.6